

# 平成29年度 みくに保育園 目標と反省(自己評価)



平成20年に公示された保育所保育指針において、保育士等及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務として位置づけられました。みくに保育園としましても、子どもの最善の利益を考慮しその健全な心身の発達を図るとともに、子どもの保護者に対する支援など社会的役割を果たす為、保育所の自己評価を行いました。今後は、評価の結果を踏まえ保育内容の改善を図るとともに、保護者の皆様や地域の皆様との信頼関係を築いて行きたいと思っております。

茨城県結城市結城3073  
社会福祉法人 三国福祉会  
みくに保育園

## 上半期の反省とこれからの目標

\* 2歳児という人見知りをする時期でもあり、はじめは泣かれてしまい、どうしたらよいか悩むときもありましたが、距離を縮めることが出来、今では頼ってくれるようになった。まだ、分からないことも多いので、仕事を早く覚え、自分のクラスだけでなく他のクラスの子とも関わりたいと思っています。また、子ども達が楽しめるような保育を提案して行きたいと思います。

\* 消極的な考えを持ってしまい、自身が持てなかった。子どもたちと笑顔で楽しく生活することを一番に前向きに過ごしていけるよう、一日一日大切にしていきたいと思う。

\* 子どもたちの様子を改めてしっかりと見ていきたいと思う。保育士の目線ではなく、子どもの目線を考えながら今後の保育を行って行きたい。

\* 1・2歳混合クラスと云うこともあって個人差もあり、泣いて登園することも多い、スキンシップをたくさんとって、安心して過ごせる環境を作って行きたいと思う。また、子ども達が主役となれる保育を目指します。

\* 複数担任ということで全員の共通理解、報告、連絡相談が難しいこともありますが、これからもよく話し合っ、子ども達が楽しく一日を過ごせるクラスにしていきたい。

\* 発達段階に個人差があるので、個々の発達をきちんと把握して保育に努めることを大切にしたい。自己主張が強くなり「自分で」と思う時期なので、一人ひとりにあった援助をして自信に繋げていけるよう心掛ける。保護者ともなるべく一日の出来事を直接伝えるようにしたり、相談を親身になって聞いたりしながら、信頼関係を築けるようにしたい。また、複数担任の為、上手く連携できるように配慮していったが、改めて相手の状況を見て動いたり、協力し合いながら保育をしていくことの重要性を感じた。チームワークを大切に子ども達の為に力を合わせて保育を進めていきたいと思う。

\* 保育に関して、日々を振り返りよい保育を充実させていくため、手立てを考えたり、他職員とやり取りをしたりして、子どもの育ちについてしっかり向き合っていく姿勢を心掛けて行きたい。更に保育士同士で十分やり取りを行う中で、保育観の摺合せや子どもの評価・情報の共有を図り、クラス全体でまとまりのある保育を行って行きたいと考えている。

\* 混合クラスがはじめてで戸惑いもあったが、子ども達と言葉のやり取りを楽しめるようになった。雨の日などは運動遊びやリトミックに偏ってしまうので、マット運動を取り入れ自然に足腰が鍛えられるような工夫をして、勾配や段差を楽しめるようにしたい。

\* 複数担任なので、報告・連絡・相談を密にし、子どもの様子や保育のやり方等共通理解のもとすすめて、今後とも子ども達や保護者、同僚の先生方に対し思いやりの気持ちと責任を持って保育をして行きたい。

\* 今までになく仕事に対するやりがいや責任感を感じる事が出来ると同時に、自分で保育を展開していくことの難しさ大変さを痛感している。先輩方の良い面を多く取り入れて自分の力としていきたい。

\* 昨年とは違う年齢の子を見て初めは少し戸惑いを感じた。子どもの目線に立ち子どもに寄り添う保育を心掛けたが子どもに伝わらず困ったこともあった。子どもに伝わり易い声掛けを模索して行きたいと思う。

\* 笑顔お忘れず、こどもが楽しいと思う保育を一番に考えて行きたい。自分に余裕が持てない所があった。気持ちに余裕をもって接していきたい。

\* 昨年と同じ学年を担当させていただいているが昨年の子どもの雰囲気や様子が違うので、もっと子どもにあった保育を心掛けて行きたい。また、一人ひとりの気持ちを汲み取り、理解しあげることが不十分であった為、きちんと向き合い寄り添って行きたい。

\* 子ども一人ひとりをよくみて、その子に合わせた保育を心掛けています。信頼関係を築きながらお母さんの存在になれるよう過ごしていきたいと思います。

\* 子どもへの接し方を意識はしているので、自分のなかでは成長を感じるが、めざしている保育士像には程遠く焦りは感じている。向上していきたい。

\* 一人ひとり深くかかわることが出来ていない。人数が多いからこそ難しいところがあるが反省している。これからも子どものことを一番に考え、色々な遊びを経験させてあげたい。

\* 4歳児の一日の流れを覚えたりするのに精いっぱいな所があつて、自分のやることへの見落としがち部分もあつてので気を付けたい。  
子ども達と一緒に毎日を楽しみながら、やるべきことをしっかりやる。大きな行事もあるので体調管理をきちんとする。

\* 一人ひとりの笑顔が増えるよう接していきたいと思う。一人ひとりの合わせた保育を考えスモールステップが見られれば、子どもが過ごしやすくなると思うので先を考えた保育が出来ればと思います。

\* 作業の取りかかりが遅く、提出物が期限ぎりぎりになることがあり反省している。子どもの気持ちに寄り添った保育を心掛け、一人ひとりの気持ちを汲み取り、理解できるようにしたい。

\* 子どもたち一人ひとりの発達の個人差が大きく、日々精一杯で気持ちに余裕がなかった。これからは、引き続き健康安全に留意しながら楽しく保育をしていきたい。

\* 二人担任で、障がいを持つ子もいてとても忙しく保育が難しいと改めて感じた。発達もバラバラ、遊びも違う、一日をどう過ごせば楽しくられるか保育内容をよく考える必要がある。子ども達も可愛く、育休で休んでいた時と違った楽しさがありとても充実している。

\* 自分の気分気持ちに左右されない様に、子ども主体の保育を目指します。子どもに対しても同僚に対しても大人な対応をしていきたい。周りの意見も取り入れ自分の保育に活かしたい。

\* 支援児が多く、対応が慌ただしくなりがちだった。数年支援児を担当してきて、その中で子どもの心理に興味を持つ等になったので、いづれ専門分野の勉強をしてみようかと考えている。

## 本年の評価と反省

\* 子どもたちとたくさん笑ったこと。

\* 一つ一つの行事が終わるたびに、間近で子どもの成長を感じられたこと。

\* 言葉の掛け方、教え方ももう少し出来る方法があつたように感じる事。

\* 年長児の担任として初めての事ばかりで、一緒に組んでいる先生に迷惑をかけてしまった

\* 複数担任だったので、上手く連携を取ろうとしたが、時々思うようにいかず失敗することもあった。

\* 3歳の時から見た学年だったので、成長を直接感じられたこと。

\* 年長児ということで子ども同士のやり取りが多い場面のあつたが、そこで相手を思いやる気持ちを大切にしている子が増えたこと。

\* 子どもたちと様々な行事や日々の活動を過ごすことが出来た。

\* 余裕をもって行動ができなかったことがあつた。

\* 担任同士の話し合いを密にし、即行動することが大切だときづいた。

\* いろいろな遊び、色々なものを使った遊びを子どもたちに教えることが出来た。

\* クラス全体を見ることを大切にしていたため、支援が必要な子と満足にかかわることが出来なかった。

\* 普段の保育で一人ひとりをよく見、スモールステップにつながるような案を考え、笑顔で接することができた。今後も温かい雰囲気大切に支援していきたい。

\* 研修に参加させていただき日々学ぶことが出来ました。

\* 子どもたちに対し怒ってしまう事が多く、もっと勉強が必要だと思った

- \* 3歳の担任同士で良く話し合い連携することが出来た、クラスごとでなく学年で活動する事が出来た。
- \* 仕事以外の雑用に追われることも多く、慌ただしく過ぎてしまった。
- \* まだまだではあるが、少しずつ保育技術の成長がみられた。
- \* 昨年の経験を生かし、子どもへの言葉がけなど学んだことが少し活かした。
- \* 保育の1日の流れを考える際、どのようにしたら子どもたちがスムーズに行動できるかもっとよく考え工夫しなければならないと思った。
- \* 今年は、自分にとって大きく変化があった一年となりとても充実しており、仕事が楽しく責任を持って取り組めた。
- \* 発達に個人差がある時期なので、一人ひとりの発達をしっかりと理解して保育に努めていった。自発性を伸ばす関わりや運動面を伸ばす係わりなど事前に考えて進められた。
- \* 一人ひとりの成長に合わせて、その子に合ったペースで排泄や靴や衣服など無理のないように進めるように心掛けた。
- \* 安全第一なのに、自分が怪我をしてしまい、皆さんに迷惑をかけてしまいました。
- \* 1・2歳児混合が初めてでもあり、また個性が豊かで、先生が話しているときなどお話ししている子が多かった時など厳しくしてしまった時があった。先生にも迷惑をかけてしまった毎日を反省し試行錯誤の日々でした。
- \* 行事の司会をしたり、一つの仕事を任せられ、経験をたくさん出来る年でした。また、色々な先生にも助言をたくさんいただき保育に活かすことが出来た。
- \* 保育士同士連携を図り保育を進め、今年度一年生命を維持して元気に過ごし、子ども達が自分の気持ちを表し活動出来ることは、良かったとおもう。
- \* 子ども一人ひとりの発達段階の差が大きく、活動ないようが狭められたこともあった。
- \* 子ども一人ひとりに合わせた保育目標を立て、担任同士の共通理解のもとに保育に臨めたこと。
- \* 法律や市の行っている保育についてのサービス制度について、あまり知らず、キャリアアップ研修を機に、その大切さを改めて実感し保育するうえで重要なことなのでしっかり勉強したいと思います。
- \* 自分の子育ての経験から、同じママと同じ悩みを共有できたのは良かった。
- \* 子どもたちや保護者に積極的に声を掛けることが出来た。
- \* 周りに助けられながら、明るい雰囲気の中楽しく仕事が出来た。子どもや保護者にも出来るだけ声を掛け話をし、少しは寄り添えた気がする。
- \* 全てのことに大雑把な所があり、深く考えない所があった。
- \* 良かった点は先輩方から色々なことを教えていただき学ぶことが出来た
- \* その子に合った声かけや、その子に合った促しなどが足りなかった。
- \* 気になる子、支援が必要な子に対する関わり方などを改めて学ぶことが出来た。
- \* 身近なりサイクル資源を活用し、手作りおもちゃを作り、子ども達が喜んで遊ぶことが出来た。
- \* クラスの主として担任したが、一日の流れ・遊び・分担など難しいことが多かった、力不足の点があり反省している。
- \* クラス担任で話し合い、保育の方針や今後の目標、やって見たい事等を共通理解できた。
- \* 子どもの姿や自らの保育の振り返りを行うこととしているが十分ではなかった。
- \* 行事等スムーズに行うことが出来、気持ちに余裕もありゆったりとした保育が出来た。
- \* 昨年よりも手作りおやつを提供する回数が増えた。
- \* 新しいメニューや手作りおやつを作ることが出来た、来年からも新メニューに挑戦し、子どもたちに喜ばれる給食作りをしたい。
- \* 雑務や主な行事、園内行事・保護者・職員とのコミュニケーション信頼関係等どれをとっても大事な役割と考えていますが、スムーズな進行が出来なかった。

## 今後の取り組み

- \* 平成30年度は「保育所保育指針」の改定もあり、良い機会なので園内研修を行い職員の資質の向上に努めていく。
- \* 職員の数が増えてきたため、職員間の意思疎通が不十分な所がみられた、職員会議やクラスでの話し合いを通し、意思疎通の向上に努めていく。
- \* 園児の年齢が低年齢化するとともに、個人差も大きくなるので、研修を通し保育の方法を学んでいく。
- \* 支援が必要な園児・気になる園児が多くいるので、「子ども研究所」と連携をとり研修に努める。
- \* アレルギーの園児や支援が必要な園児に十分配慮できるよう努める。

- \* 園児の定年れ化に伴い、行事の内容も検討していく必要がある。
- \* キャリアパス研修に参加し資質の向上を図り、園全体に良い影響をもたらすように努める。